

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月 23日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市水口町さつきが丘13

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
関西ベストフーズ株式会社 代表取締役社長
秋葉 裕樹 (代理人)若井春孝

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	関西ベストフーズ株式会社 代表取締役社長 秋葉裕樹
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市水口町さつきが丘13

1 事業所の概要

事業所の名称	関西ベストフーズ株式会社						
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町さつきが丘13						
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	9	9	5	※ 産業分類・細分類名称を記載 冷凍調理食品製造業	
事業の概要	冷凍調理食品(主にハンバーグ)の製造						
従業員の数	150	人	作業時間	24	(製造18時間 掃除6時間)	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者						
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者						
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者						
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備	台	照明設備	台
	コンプレッサ		台	空気調和設備	台	その他	55kw冷凍機5 台65kw冷凍機 2台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2022	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了 年度	2027	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

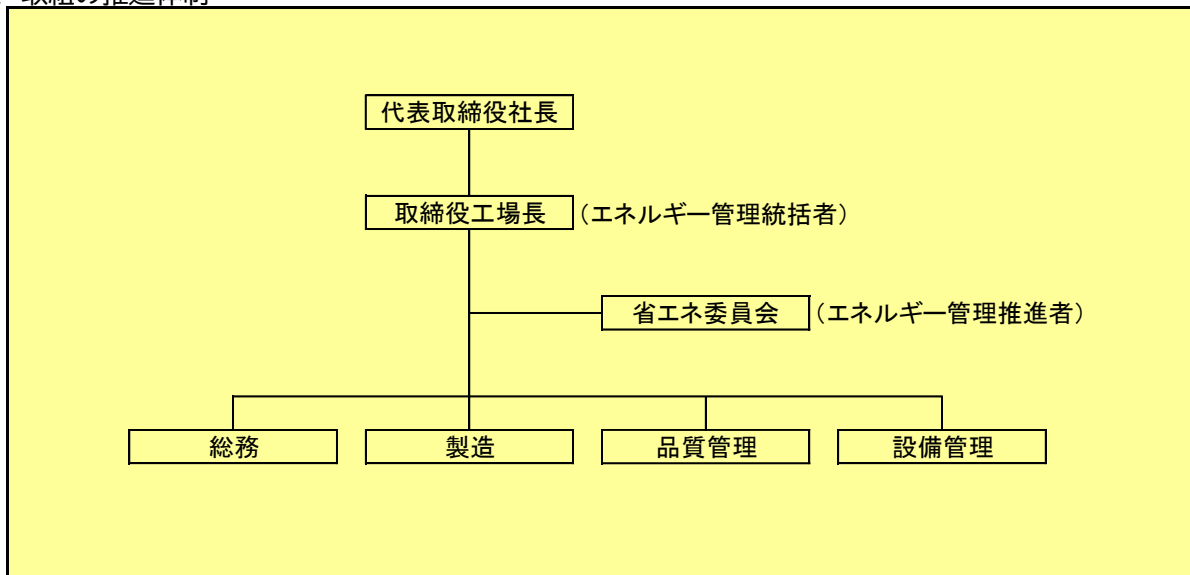
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち[関西ベストフーズ株式会社]は「食品の製造及び販売活動による環境に与える負荷を最小にするために、環境法規則を遵守するとともに、改善活動を積極的に取り組む」という日東ベストグループの企業理念のもと、製造業として環境に配慮した製品の提供に努めてまいります。

同時に私たち[関西ベストフーズ株式会社]は、地域に根ざした環境保全活動を通じて地域の方々とのパートナーシップを育み、各事業所を拠点として低炭素社会の構築に寄与していきます。

1. 事業活動を通じて、環境負荷を最小限にする仕事の仕組みをつくり、環境の保全と汚染の予防に取り組めます。
 - ①省エネルギー・省資源を推進します。
 - ②廃棄物の減量化及び再生利用を推進します。
 - ③環境に配慮した物品の購入を推進します。
 - ④環境配慮製品の開発と販売を促進します。
 - ⑤環境美化運動と啓蒙活動を推進します。
2. 事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

環境ISO14001に基づき、CO₂ネットゼロ、環境負荷低減に取り組んでいます。

計画期間内に実施したCO₂ネットゼロ社会づくりに係る設備投資は以下の通りです。

2022年

- ・原料冷蔵庫、冷凍庫の冷却設備を自然冷媒、高効率機種へ更新

2023年

- ・GHP空調機第5系統を高効率機種へ更新
- ・原料庫へのエネルギーモニター設置
- ・後処理内包装室蛍光灯51台をLED化

2024年

- ・工場大屋根修繕、断熱工事
- ・3トン小型貫流ボイラーをインバーター機に更新

2025年

- ・前処理作業場の空調機を更新
- ・配送センター蛍光灯132台をLEDへ更新
- ・廃フライ用植物油の再資源化

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	工場全エリアの照明LED化	2022年度～	25年度は5月に配送センター内130台を交換 実施
2	設備導入	GHP空調機5系統を高効率機へ更新	2023年度～	25年5月1系統更新実施済 6系統中5系統の更新を完了
3	設備導入	Bライン冷凍機、焼成ライン更新による製造ライン高効率化	2025年度	24年度→25年度に変更
4	運用改善	ボイラー、コンプレッサーを生産内容に合わせて運転時間短縮	2023年度～	実施中
5	設備導入	3トン還流ボイラーを高効率機へ更新	2024年度	実施済

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		原料冷凍庫、冷蔵庫をR22冷凍機からCO2冷凍機へ更新	2022年度	22年度実施済
2		BラインフリーザーR222冷凍機を自然冷媒冷凍機へ更新	2025年度	24年度→25年度に変更
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記取組等により、令和3年度を基準年度として以下の数値目標の達成を目指します</p> <p>原単位 温室効果ガス排出量÷生産量 毎年1%削</p> <p>温室効果ガスの排出量は生産量に左右されるため、原単位指標を生産量に設定</p> <p>2021年度実績 3563(温室効果ガス発生量)÷5633(生産量)=0.63</p>	<p>2023年度実績 3577(温室効果ガス発生量) ÷6216t(生産量)=0.57</p> <p>2024年度実績 3563(温室効果ガス発生量) ÷5423t(生産量)=0.65</p> <p>前年度と比較すると、温室効果ガス発生量は低下したが生産品目の変化により生産量が減少し、原単位としては悪化した。計画</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(22)年度	(23)年度	(24)年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	2,047	2,180	2,065	1,951		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,563	3,596	3,577	3,563		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,563	3,596	3,577	3,563		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	太陽光発電システムの導入に関西電力へ相談、検討している。実施時期はいまのところ未定。
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況	
<p>冷凍食品生産を通じた低炭素社会づくりへの貢献 関西ベストフーズでは、主にハンバーグ、ミートボール等の冷凍食品の生産を行っています。 冷凍食品は、自然界解凍や電子レンジでの解凍・過熱、煮沸解凍により少ないエネルギーでお客様が食する状態にできます。 家庭や事業者で使用するときは材料から作り出すよりも、二酸化炭素排出を伴う電力、ガスの使用量を削減することが可能です。 このことを通じて温室効果ガス排出削減に貢献するものです。 本期間において、冷凍食品を社会に供給することにより低炭素社会づくりを推進していきます。</p>	<p>順調に実施している 商品 開発においてユーザーでの調理時間短縮に取り組んでおり、更なる貢献が出来ると考えております。</p>	
	CO ₂ 削減貢献量	
	18,713.6	t-CO ₂

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
<p>目標：当工場で生産している主力製品の冷凍ハンバーグ、ミートボールを飲食業者や家庭で使用されることにより計画期間5年間で累計28,888tの二酸化炭素排出削減に貢献する。(年間生産量を5,500t見込)</p> <p>考え方：貢献量は、材料からハンバーグを調理し口にするまでに発生するCO₂量と当社生産冷凍ハンバーグを利用者が購入し口にするまでに発生するCO₂量の差で算定結果を用いることとした。 なお、計画期間の工場総生産量(全てハンバーグに置き換え)で比較するものとする。</p> <p>貢献度の算定方法 ・材料から口にするまでに発生するCO₂量 - 冷凍ハンバーグを利用者が購入し口にするまでに排出したCO₂量(t-CO₂)</p> <p>・材料から口にするまでに発生するCO₂量 = (使用水の持つ発生CO₂量 + 加熱に必要なLNGによる発生CO₂量 + 廃棄ゴミの発生CO₂量)</p> <p>・材料から口にするまでに発生するCO₂量 1238kg-CO₂/t 冷凍ハンバーグを利用者が購入し口にするまでに排出するCO₂量 187.5kg-CO₂/t</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>生産量 2022年度 6175t 2023年度 6216t 2024年度 5423t 合計 17814t</p> <p>【(1238-187.5)×1781】÷1000=18713.6</p> </div>

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
<p>22、23年度の生産量が想定よりも多かったため、目標を上回っている。</p>
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠
<p>(2)の通り</p>

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	自転車通勤の 奨励	自転車利用の啓発活動を行っている 駐輪場を設けている	実施中	実施中
2	出張時の公共 交通機関利用 の促進	出張は可能な限り公共交通機関での移動を行うよう指示 をしている	実施中	実施中
3	物流の合理化	本社販売部、原料サプライヤーと連携し、輸送トラックの 空きスペースを減らすよう努めている	実施中	実施中

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				(22)年度	(23)年度	(24)年度	()年度	()年度
	保有車輛の数	台	2	2	2	2		
	上記のうち 次世代自動車等の 数	台						
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	その他	規格外品の子ども食堂への提供による廃棄物削減	実施中	24年度実績5トン
2	SDGs	食品由来の廃棄物の100%飼料、堆肥化を維持する	実施中	24年度年度計画通り 実施
3	SDGs	廃棄物の分別を行い再資源化を促進し、リサイクル率を 90%以上にする	実施中	24年度4年度計画通 り実施
4	SDGs	廃植物油の航空燃料SAF化への再利用	25年度開始	今年度開始
5	環境マネジメ ントシステム (EMS)	環境ISO14001による管理		実施中